



Etsuko's EYE

～こんな視点で活動しています～

マイナンバーカードに性別記載欄はいらない



坂井提案の意見書が可決！2点求めました。

- (1) 性別情報はICチップでわかるのでカードの性別記載をなくすこと
- (2) 性別違和への理解啓発を図ること

マイナンバー制度には反対ですが、お困りの当事者の声を聞いたので、制度の是非は触れず、要点をしばって提案しました。

ヤングケアラーのサポートと女性議員の視点

昨年行ったヤングケアラーの質問にご注目いただき、NWEC実践研究に寄稿しました。坂井の若者ケアラーの経験も書いています。全文は、発行元の(独)国立女性教育会館のHPからご覧いただけます。



坂井えつ子の収支報告 2019.4～2020.3

収入	議員報酬	8,202,600
支出	税・年金・保険	2,045,520
	坂井えつ子とつながる 小金井の会	1,000,000
	活動費・生活費	5,157,080
支出合計		8,202,600

▶ 審議会等報酬は受取拒否
審議会等には、市民参加を増やすべき。議員は議会で審議を！

▶ 政務活動費は一人月3万円
領収書等を市HPで公開。
残金は返金しています。

ひとことニュース：坂井事務所には、スペースこつこつという隠れネームがあります。このマークが目印



<坂井えつ子 プロフィール>

●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中小金井北高、日本大学法学部卒業 ●日本福祉教育専門学校入学 ●2015年市議補選で初当選 ●2017年再選。厚生文教委員、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員、議会運営委員、広報協議会委員 ●湖南衛生組合議員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会 第3委員会(道路)、小金井市土地開発公社評議員 ●市民自治こがねい、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワークなどに参加。

お問合せ・ご相談
お気軽に

坂井えつ子 連絡先

本町2-19-6 1-105
TEL : 090-1796-7652
Mail : info@sakaietsuko.com



公式HP



坂井えつ子

検索

坂井えつ子

福祉を
市政の
ど真ん中に!

Vol.49

のつながる小金井通信

2020年第1回定例会 報告号



新型コロナウイルス まずは相談を

かつてない感染症拡大で、いのちや暮らしへの影響は深刻です。3月議会は、市のコロナウイルス対策を優先するため、休会しながら、限られた時間で審議しました。市は、対策本部を立ち上げ、会議録や資料は、HPに掲載されています。4月7日、首相は緊急事態宣言を、都は緊急事態措置をしました。仕事や生活でお困りの方、まずはご相談を。ココロとカラダの免疫力を下げぬよう、過ごしましょう。

市の納税相談

新型コロナウイルス感染症の影響により、期限内に納付できない事情がある場合。事情を伺った上で担当職員がご案内。

納税課納税係

電話：042-387-9823
FAX：042-386-2609
(複数課で共用。納税課宛とご記入を)
Mail：s030799@koganei-shi.jp

しごとや生活に困っている方、 まずはご相談ください

家賃を払えない、仕事が見つからない、税や公共料金を払えない、ひきこもりの家族がいるなど、生活の困りごとや不安を抱えている場合。

自立相談サポートセンター
本町5-36-17(社会福祉協議会内)
電話：042-386-0295
(まずは電話をおかけのうえ、ご来所を)

東京都 新型コロナウイルス 感染症電話相談窓口

電話：0570-550571 (ナビダイヤル)
受付時間：午前9時～午後9時
(土、日、祝日を含む)

東京都 緊急事態措置相談センター

電話：03-5388-0567
受付時間：午前9時～午後9時
(土、日、祝日を含む)

(2020.04.08現在)

新型コロナウイルスの影響やお困りごと、坂井もお聞きしています。秘密は守ります。感染拡大防止のため、基本的に、電話やメール等でお受けしています。

坂井えつ子 TEL：090-1796-7652 Mail：info@sakaietsuko.com

はけと野川をこわす東京都の道路計画 小金井3・4・11号線外 建設の是非について意見交換できる場が必要!!

2月21日～23日、都主催のオープンハウスは、市民の指摘でパネルが修正される、職員の説明内容に差があるなど。意見交換は、会場が狭く参加できない方がいる、マイクが使えず聞き取りにくいなど課題が散見されました。

議会



市長への決議 & 坂井提案の都に対する意見書を可決。「オープンハウスでのアンケートと意見交換の記録公開」&「道路建設の是非から意見交換できる場の設定」を求めました。

市長



現状、市民の望まない道路は作らせないという立場は今も大切にしなければならない。意見交換会の継続は要望していきたい。参加市民の求めに、都がどう応えていけるのかは課題として残っている。

昨年の市長選での西岡候補の主張を引用しながら、質問。
市長が、答弁のとおり都に要望していくのか、注視していきます。



気候危機対策は待ったなし!!

思い切ったCO2削減策を!

都の補助金で、2025年度にはすべての小学校体育館にエアコンが入ります。市によると、CO2排出量の増加見込みは、6万1,425キロ。坂井試算で、東京ドーム25個分。1年間でこのCO2を吸収するには、4,331本の杉の木が必要です。

市公共施設の温室効果ガス排出量は、例年、削減目標値を達成できていないけれど、2017年に比べ、2018年は増加率が減少。市は、「CO2排出係数の少ない電力会社と契約できた結果。エネルギー使用量は減っていないので、更なる努力が必要」と説明しています。



CO2排出係数の高い電力会社とは契約できないよう、契約基準を厳しくするなどの削減強化策を求めました。市長が施政方針や年頭あいさつで、「気候危機」に触れたのは今年が初めて! 具体的で大胆な削減策に期待しています。



新年度一般会計予算は、賛成。独自の点数化で **20点!!**

小学校体育館にエアコンを入れていけれど、具体的なCO2削減策がないので大幅減点。市政を運営する基礎とすべき地球環境を、将来世代に引き継ぐ責任があります。



予算の良いところ

- 1 庁舎・福祉会館 予定通りの竣工を
- 2 週に数時間、市役所に手話通訳者を置くなど、障がいのある方が被っている不利益を解消するための取組
- 3 性の多様性を理解するための研修費
- 4 住宅用新エネルギー機器等の補助金
- 5 会計年度任用職員へのボーナス支給



伸びしろがあるところ

- 1 気候危機対策の更なる強化
- 2 庁舎・福祉会館 CO2削減強化など
- 3 学校給食やリユース・リサイクル事業における市の責務と取組を明確に
- 4 はけと野川を壊す道路について、意見交換の場の継続など求め続けること

意見全文は坂井ブログで→



移動支援の対象拡大を!

軽度の障がいがある方が外出する際の移動支援は、自治体の判断によって行われています。

小金井市の移動支援対象

身体障がい(視覚障がいのみ)
知的障がい、精神障がい

視覚障がい以外の身体障がいも対象に!! 当事者の方が改善を求める陳情書を出しました。市は、前向きに検討する、としているので注目。



広場はより広く 福祉会館も耐震→免震に

3月19日、庁舎・福祉会館建設について、他5会派の議員と共に、市長に申し入れました。

市民のご意見や議会での質疑を聞き、さらにパブリックコメントでもニーズが多かった「広場」「免震」の2点です。

